

社会福祉法人栄和会 広報紙 第46号

ひだまり

新型コロナウイルス感染症は世界的な「感染爆発（パンデミック）」となり、各地でいろいろな問題を起こしています。日本ももちろん例外ではなく、4月にはわが国で初めて緊急事態宣言が出されました。北海道ではいち早く2月中旬に一度緊急事態宣言を出し対応しましたが、残念ながら第2波と言われる状態が起きたことから、政府の緊急事態宣言に合わせて外出や営業の自粛を行ってきました。皆様も日常生活の中で様々な不便や影響を受けたのではないかと思います。

栄和会では、毎年冬期間はインフルエンザ等の感染予防対策を強化しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大が見られてきた2月下旬から①面会の制限②職員の体調管理の徹底③在宅サービス利用者の体調確認などを行い、さらに4月下旬以降は①施設内会議の禁止②一部在宅勤務の採用など3つの密を避ける対応を行っています。

しかし、すでにご承知の通り4月上旬に特養ひらおか梅花実の職員から1名陽性反応が出てご迷惑をお掛けしました。その職員の感染経路も外部であると判明しており、その後の経過では他に感染が拡がってはならず、その職員も無事職場復帰しております。これもご利用者やご家族のご協力と職員の努力のたまものと感謝しております。

さて、新型コロナウイルス感染症は現在（7月下旬）のところ一旦小康状態となり経済活動などが再開されておりますが、新型コロナウイルスが消滅したわけでも治療法や予防法が確立したわけでもありませんので、完全にこれまで通りの生活が戻るのではなく、「新しい日常」といわれる生活形態になると思います。また、欧州の調査では新型コロナウイルス感染症による死亡者の約半数が高齢者施設の入居者であるとの報告があり、依然として高齢者施設の危険度は高いと思われます。

来ることが予想される第3波（全国的には第2波）に備えて様々な準備が進められていますが、当法人でも、今後も「新しい日常」に対応した感染予防対策を状況に合わせて実施してまいります。ご利用者、ご家族、職員を感染から守り尊厳ある暮らしをして頂くために、皆様のご協力をお願いいたします。



社会福祉法人 栄和会

常務理事 瀬戸 雅嗣

ご挨拶

CONTENTS

1 ご挨拶

2-3 新型コロナウイルスの対策について
・やすらぎ ・あつべつ ・厚別栄和荘
・ひらおか梅花実 ・あつべつ南5丁目

4-5 令和元年度 決算報告

6 栄和会祭り中止のご案内、寄贈品、介護職員初任者研修、編集後記

社会福祉法人 栄和会 基本理念

私たち栄和会職員は
利用者、家族、地域社会との和を
大切にすることを信条とし、

- 1 その人らしい尊厳ある暮らしの実現を目指します
- 2 自立した生活ができるよう支援します
- 3 専門的な技術と知識を持ち、質の高いサービスを提供します
- 4 安心、安全、快適な施設・設備の充実に努めます

www.eiwakai.or.jp

第26回
栄和会祭り中止のご案内

例年であれば9月にやすらぎ・厚別栄和荘・あつべつ会場、ひらおか梅花実会場、あつべつ南5丁目会場にて栄和会祭りを開催させて頂いておりましたが、本年につきましては、新型コロナウイルスの感染予防の観点より、開催を中止させていただく運びとなりました。

例年多くの方々に足を運んでいただいておりますが、本年も楽しみにされていた方もおられるかと思いますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

寄贈品

ご利用者ご家族をはじめ、多くの方々より寄贈品を頂戴しました。一部しかご紹介できませんが、寄贈いただいた皆様へ感謝申し上げます。日々の支援の中で活用させていただきたいと思っております。



■手作りマスク



■加湿器、紙マスク

令和2年度
介護職員初任者研修（ヘルパー2級）

社会福祉法人 栄和会では、地域における介護人材の育成を図るため平成28年9月12日に初任者研修養成所を開設いたしました。



開催日

一回目 7月終了
二回目 12月の予定

お問い合わせください。

対象者

・原則全日程出席可能な方
（開催期間中、31回程度の通学となります）
・心身ともに健康な方

研修会場

札幌市厚別区厚別南5丁目1番10号
特別養護老人ホームあつべつ南5丁目

受講料

お問い合わせください。

お問い合わせ先

社会福祉法人 栄和会

介護職員初任者研修養成所

電話 011-884-8886

FAX 011-884-8801

〒004-0873

札幌市清田区平岡3条3丁目1-8

受付（9時～17時）

栄和会のご案内

やすらぎ
(定員50名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●ケアハウス／特定施設入居者生活介護
●デイサービスセンター

☎011-896-5014

厚別栄和荘
(定員104名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●特別養護老人ホーム／短期入所生活介護

☎011-896-2565

●デイサービスセンター

☎011-896-5014

●居宅介護支援事業所

☎011-896-2538



〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6

☎011-896-5010

ひらおか梅花実
(定員80名)

〒004-0873 札幌市清田区平岡3条3丁目1-8
●特別養護老人ホーム／短期入所生活介護

☎011-884-8886

●デイサービスセンター

☎011-884-8882

●居宅介護支援事業所

☎011-884-8805

あつべつ
(定員100名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●介護老人保健施設／短期入所療養介護
●通所リハビリテーション ●訪問リハビリテーション

☎011-896-5020

あつべつ南5丁目
(定員80名)

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南5丁目1-10
●特別養護老人ホーム／空床型短期入所生活介護

☎011-375-0526

●デイサービスセンター

☎011-375-0375

●居宅介護支援事業所

☎011-375-6825

■札幌市委託事業 厚別区第1地域包括支援センター・厚別区第2地域包括支援センター・介護予防センター厚別西東

特別養護老人ホーム 厚別栄和荘

新型コロナウイルスが猛威を振るっており、札幌市においても病院や施設等含め多数のクラスターが発生してありました。地域の皆様におかれましては、いづれどこでそのような状況になってしまうか分からない不安もおありかと思えます。厚別栄和荘では様々な取り組みを行い、感染症予防を図り、ご家族、ご利用者に安心して過ごして頂けるよう努めているところです。

対策として、ケア実施前後の手洗い・消毒はもちろん、業務中は常時マスクを着用し、毎日複数回床等各所の消毒作業や換気を行っています。また、職員の検温も欠かさず行い、記録に残しています。体調不良の職員は出勤停止期間を設け、職員がウイルスを持ち込むことのないよう対応しております。例年であれば、面会に来られたご家族と外出されたり



外出行事に参加したりとご利用者も外へ出る楽しみがありますが、現在は活動を控えたり、面会制限を設けたりとご不便をおかけしている状況です。新たな取り組みとしてテレビ電話面会を実施し、パソコンの画面を通して会話していただく取り組みを行っています。また、現在厚別栄和荘では手作りガウンやフェイスガードを作成する等今後の感染の波への準備も行っています。

最後になりますが、制限の趣旨をご理解頂きご協力くださっている皆様、マスクや消毒液等の寄付をしてくださった方々へ改めて感謝申し上げます。今後とも取り組みに対するご理解とご協力をお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム ひらおか梅花実

ひらおか梅花実では、4月に職員が新型コロナウイルス陽性の診断を受けるなど、皆様には大変ご心配をおかけいたしました。その後は感染の拡大もなく現在に至っております。この間、温かい励ましをくださった全ての皆様にこの場をおかりして心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

さて、その後の新型コロナウイルス感染防止の取り組みですが、他の施設同様、ご家族等外来者の面会制限にご協力を頂いております。お会いできないご家族に、入居されている皆様のお元気を知らせするため、ユニットごとのお写真を撮影しお送りしています。いつもの自然な表情を撮影できるよう心がけ、ご希望の方にはメールでもお送りしています。



また、ご家族だけではなく、ボランティアさんの活動も休止している関係から、音楽会や体操、手芸、書道などの余暇活動もお休みの状態です。利用されている



皆様にとりましては単調な日々になりがちなところで。そこで、ケーキやお菓子を取り寄せお茶会を開催するなど、毎日の暮らしに少しでも変化があるように工夫を凝らしているユニットもあります。

一日も早く、元の生活に戻り、ご利用者とご家族が楽しく面会される日々を心待ちにしておりますが、今後はその方法につきましても、少し考え方を变えて新しい方法を検討せざるを得ない状況です。

このような状況の中、面会制限の趣旨をご理解頂きご協力をくださっている皆様のためにも、安全な生活環境を守りつつ、ご家族の絆を守ることにしても、様々な方法を模索してまいりたいと考えております。今後とも、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム あつべつ南5丁目

特別養護老人ホームあつべつ南5丁目では開設時より、各ユニットに「次亜塩素酸空間除菌脱臭機」の導入、日頃から職員の手洗い・うがいを徹底する等の感染症対策に努めております。この度、新型コロナウイルスの感染症拡大防止による対策として令和2年2月25日より、緊急をやむを得ない方を除き、面会を制限させて頂いておりました。

ご利用者やご家族の不安が軽減できる様に、LINEによるテレビ電話ができるタブレットを導入し、登録されたご家族がご希望時に通話をご利用されております。ご利用者やご家族からは「久しぶりだね。元気そうで良かった。」等のお言葉が聞かれました。



日常では機能訓練指導員が中心となり、3月末より寝たきり予防・生活の楽しみ等を目的に身体を動かす機会を設け、ご利用者からも「身体を動かす事はいい事だね。」等のお言葉が聞かれました。又、天気の良い際は気分転換に数分ずつではありますが、敷地内に日光浴もされております。

各ユニットではご利用者に楽しんで頂けるようお寿司の出前レクや焼きそば大会、天ぷら大会等の調理レクを行い「こんなに食べたら夜ご飯いらないね。」等のお言葉が聞かれました。



今後も皆様のご理解とご協力を頂き、感染症対策の徹底を継続し、あつべつ南5丁目に関わる皆様方が1日でも早く安心した生活に戻れる様に職員一同努めて参りたいと思います。

新型コロナウイルスの 対策について



各施設からの新型コロナウイルス対策に関する報告です。

ケアハウスやすらぎ

ケアハウスやすらぎにおきましては、コロナウイルス感染予防の一環として2月下旬より面会制限とご利用者の外出制限をお願いしております。寂しい思いをされているご利用者も、感染予防に対する対応としてご理解頂き感染症の流行が終息する日を待っているところでございます。ご家族におかれましては、受診や日用品の用意などご支援頂き感謝申し上げます。

当施設では日頃より取り組んでいる感染防止対策に加え、ご利用者の検温・体調確認を1日2回行っております。職員の体調確認に関しても同様に行い、マスクの着用と手洗い、施設内の消毒を行っています。飛沫感染予防として事務所カウンターにビニールカーテン



を取り付け、食堂、事務所全ての机に衝立を設置しました。コロナ対策として、マスク、手袋、ビニール製の予防衣のほか、ゴーグルやフェイスシールドの用意もいたしました。

外出の制限や自粛の為、活

動範囲が減少してしまい、ご利用者の身体機能の低下や意欲の低下が懸念されますので、密を避けた移動販売の実施や、日用品の買い物支援を行っております。配置や消毒に留意して映画上映等を実施し、やすらぎカフェでは、手の洗い方を繰り返し実施する等コロナに負けない対策に取り組んでいます。茶話会の中でもご利用者と一緒にコロナにならないうつさないを考え、その内容をポスターにして掲示しています。

感染予防の対応で追われる中、ご利用者が手作りマスクを作成して下さいました。

職員もご利用者も自分ができることを探し、ウイルスに負けない日々を過ごしております。

引き続き感染症対策に細心の注意を払いながら、職員一丸となって最大限の努力をさせていただきますので、ご理解ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

ケアハウスやすらぎは新北海道スタイルで、元気に乗り越えていきます。



介護老人保健施設 あつべつ

あつべつでは、例年11月から翌3月までを感染対策強化月間として感染予防に取り組んでいます。新型コロナウイルスの流行により、皆様には予定していた期間を超えて外出・外泊・面会制限をお願いしているところです。皆様のご理解とご協力、誠にありがとうございます。

あつべつでは、5月7日から「テレビ面会電話サービス」を開始しています。画面越しではありますが、久しぶりに顔を合わせて会話する事ができました。お互い元気な姿を見て安心を感じる事ができますし、職員も緊張の中で仕事をしていますので、その姿を拝見し気持ちが和らぎました。

入所では、レクリエーションを行うにあたり、参加者の手洗い、間隔を空けた座席配置に変更、実施時間の短縮など、3密に配慮した取り組みを行っています。デイケアでは、ご利用者に体調管理と毎日の体温測定に依頼と3密に



細心の注意を払い、ご利用を継続していただけるように努めました。ご利用者の協力のもと、音楽療法等のプログラムも縮小することなく継続でき、「奏で隊」が無事!?通算100回を迎えることができました。

また、受診等で外出する場合には、ソーシャルディスタンスに従って、マスクの着用と、病院では他の受診者と社会的距離を保つようにしています。受診後も体調の変化に留意し検温と症状の有無を確認する対応を行っています。

あつべつでは、老健の機能である活動や参加の促進、自立支援を大事にして、皆様に安心・満足頂けるようサービス向上に取り組んでおります。新型コロナウイルスと上手に共存しながら、「ウィズ・コロナ」で乗り切っていきましょう。今後とも宜しくお願いいたします。



貸借対照表

(令和 2年 3月31日現在) (単位：円) 1頁

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
001 流動資産	687,119,315	937,744,979	△250,625,664	011 流動負債	192,678,438	176,849,077	15,829,361
01 現金預金	254,533,777	453,341,400	△198,807,623	02 事業未払金	65,213,387	66,413,190	△1,199,803
03 事業未収金	360,132,165	281,712,074	78,420,091	03 その他の未払金	10,394,089	4,000,000	6,394,089
04 未収金	10,075,730	4,448,426	5,627,304	06 1年以内返済予定設備資金借入金	33,488,000	33,840,000	△352,000
05 未収補助金	58,501,262	198,209,890	△139,708,628	12 1年以内支払予定長期未払金	5,675,388	2,808,756	2,866,632
09 医薬品	290,277	339,212	△48,935	14 預り金	8,443	7,348	1,095
15 立替金		69,470	△69,470	15 職員預り金	20,099,131	22,879,783	△2,780,652
17 前払費用	3,586,104		3,586,104	21 賞与引当金	57,800,000	46,900,000	10,900,000
24 仮払金		90,907	△90,907				
26 徴収不能引当金		△466,400	466,400				
002 固定資産	3,462,824,017	2,695,432,454	767,391,563	012 固定負債	1,260,210,572	877,968,550	382,242,022
001 基本財産	3,124,386,047	2,062,330,347	1,062,055,700	01 設備資金借入金	944,528,000	606,016,000	338,512,000
01 土地	669,550,904	471,550,904	198,000,000	07 退職給付引当金	300,526,953	263,213,810	37,313,143
02 建物	2,454,835,143	1,590,779,443	864,055,700	08 長期未払金	15,155,619	8,738,740	6,416,879
002 その他の固定資産	338,437,970	633,102,107	△294,664,137	負債の部合計	1,452,889,010	1,054,817,627	398,071,383
03 構築物	35,190,428	418,534	34,771,894	純資産の部			
04 機械及び装置	866,250		866,250	013 基本金	523,108,960	523,108,960	
05 車輛運搬具	9,897,853	8,266,143	1,631,710	01 第一号基本金	431,300,077	431,300,077	
06 器具及び備品	114,605,049	42,581,177	72,023,872	02 第二号基本金	69,318,193	59,318,193	
07 建設仮勘定		423,241,933	△423,241,933	03 第三号基本金	32,490,690	32,490,690	
09 権利	706,018	706,018		014 国庫補助金等特別積立金	913,156,524	928,580,551	△15,424,027
10 ソフトウェア	3,736,242	1,752,707	1,983,535	016 次期繰越活動増減差額	1,260,788,838	1,126,670,295	134,118,543
16 退職給付引当資産	169,778,470	155,985,595	13,792,875	02 (うち当期活動増減差額)	134,118,543	17,205,713	116,912,830
20 長期前払費用	316,420		316,420				
21 その他の固定資産	3,341,240	150,000	3,191,240	純資産の部合計	2,697,054,322	2,578,359,806	118,694,516
資産の部合計	4,149,943,332	3,633,177,433	516,765,899	負債及び純資産の部合計	4,149,943,332	3,633,177,433	516,765,899

資金収支計算書

(自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日) (単位：円) 1頁

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入 151 介護保険事業収入	2,203,164,647	2,210,641,482	7,476,835	
	152 老人福祉事業収入	62,207,455	62,265,225	57,770	
	159 研修事業事業収入	385,000	385,000		
	162 経常経費寄附金収入	100,000	100,000		
	163 受取利息配当金収入	765	5,550	4,785	
	164 その他の収入	4,623,598	4,770,854	147,256	
	事業活動収入計(1)	2,270,481,465	2,278,168,111	7,686,646	
	支出 111 人件費支出	1,485,555,914	1,482,388,331	△3,167,583	
	112 事業費支出	394,009,478	389,676,365	△4,333,113	
	113 事務費支出	341,241,065	338,244,007	△2,997,058	
施設整備等による収支	118 支払利息支出	11,882,807	11,831,147	△51,660	
	事業活動支出計(2)	2,232,689,264	2,222,139,850	△10,549,414	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	37,792,201	56,028,261	18,236,060	
	収入 166 施設整備等補助金収入	50,539,000	50,539,000		
	168 設備資金借入金収入	372,000,000	372,000,000		
	施設整備等収入計(4)	422,539,000	422,539,000		
	支出 121 設備資金借入金元金償還支出	33,840,000	33,840,000		
	122 固定資産取得支出	724,879,560	724,878,660	△900	
その他の活動による収支	施設整備等支出計(5)	758,719,560	758,718,660	△900	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△336,180,560	△336,179,660	900	
	収入 175 積立資産取崩収入	6,560,130	7,180,960	620,830	
	183 その他の活動による収入	52,744,825	52,744,825		
	その他の活動収入計(7)	59,304,955	59,925,785	620,830	
	支出 129 積立資産支出	27,919,357	27,595,575	△323,782	
	137 その他の活動による支出	5,636,669	5,636,669		
	その他の活動支出計(8)	33,556,026	33,232,244	△323,782	
予備費支出(10)	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	25,748,929	26,693,541	944,612	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△272,639,430	△253,457,858	19,181,572	

前期末支払資金残高(12)		844,571,846	844,571,846	
当期末支払資金残高(11)+(12)	△272,639,430	591,113,988	863,753,418	